

# HOTeye

心と心のかよいあう福祉の情報誌

ホットアイ

2023 Vol.112

- P1 **特集** 社会福祉事業所紹介  
**地域の元気を一緒につくる米子市社協**  
社会福祉法人 米子市社会福祉協議会
- P5 チャレンジ福祉の仕事  
社会福祉法人 米子市社会福祉協議会
- P6 福祉専門職の紹介  
人との出会い、繋がりが自分の成長に  
【コミュニティワーカー】
- P7 福祉人材センター情報  
福祉の職場で働きたい方と人材を求める  
事業所との橋渡しをしています
- P8 ボランティア・市民活動センター情報  
とっとりボランティアバンク登録団体紹介  
ハッピーリージョンプロジェクト
- P9 ボランティア・市民活動センター情報  
多世代交流拠点「COCON」  
誰でも気軽に立ち寄れる、  
ほっとできる空間を。
- P11 ことぶき高齢者情報  
ねんりんピックかながわ2022
- P12 ことぶき高齢者情報  
いきいきシニア
- P13 鳥取県社会福祉協議会からのお知らせ

住民とともに暮らしを取り組む福祉のまちづくり



子どもたちの長期休業中の居場所づくりとして実施される「ぎほう(義方地区)こどもカレッジ」でボランティアとともに活動する米子市社会福祉協議会の職員

米子市社会福祉協議会

# 社会福祉法人 米子市社会福祉協議会

米子市公会堂近くの福祉・保健関連の様々な施設・団体などが入る

米子市福祉保健総合センター「ふれあいの里」の中に

米子市社会福祉協議会(米子市社協)があります。

幅広く地域住民に密着し、ユニークな事業も展開する米子市社協では  
既存の相談支援や地域づくり(地域福祉活動)支援の取り組みを生かし、

子ども・障がい・高齢・生活困窮といった分野別支援では対応しきれない

“地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズ”に対応する

包括的な支援体制を構築するため、「幅広い相談支援」から

「地域づくりに向けた支援」を一体的に行っています。



※取材は感染対策を徹底した上で、撮影時のみマスクを外しています。

# 地域の元気を一緒につくる米子市社協

独自の支援事業に取り組んでいます。

「地域のために住民が主体的に活動できるように」



「福祉のまちづくりプラン」策定のための話し合い

全国市区町村それぞれにある社会福祉協議会は、地域福祉の推進を図ることを目的にした営利を目的としない民間組織です。誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを地域住民とともに考えながら「地域福祉活動」を積極的に支援しています。

また、生活に密着したさまざまな福祉サービスを提供するほか、多様な福祉ニーズに応えるため、地域住民「組織」をはじめ、ボランティア、福祉・保健・医療、教育・行政機関など、さまざまな社会資源とのネットワークを通して、地域の特性を踏まえた



地域の「支え愛マップづくり」の様子

米子市内の415自治会は、大きく29地区に分けられ、それぞれに「地区社会福祉協議会活動」やボランティアによる「在宅福祉員活動」「ふれあいいきいきサロン活動」、災害時や見守り活動に役立てる「支え愛マップづくり」などの地域活動が行われています。

米子市社協事務局長の政木人己さんは「現在、地域活動に取り組む多くの方は、すでに何かの活動しており、新たな活動がすぐに生まれるわけではありません」としながらも、「米子市社協が進めている『福祉のまちづくりプラン（地区版の地域

## 社協職員は地域づくりのサポーター

福祉活動計画』の策定を通して、米子市社協のコミュニティワーカー（CW）※1が地域住民をつなぎ、防災犯から高齢者福祉や子育て支援など、地域住民自らが地区のためにどんな活動ができるか計画をすすめる、住民主体の活動へと発展しつづけます」と話します。

CWはそれぞれ担当地区を持ち、地域の基礎データとなる「地域カルテ」※2の作成もすすめています。また「福祉のまちづくりプラン」を策定された地区でも、計画策定過程の中で地域の現状把握のために地域カルテ



米子市社会福祉協議会  
政木 人己  
事務局長

を作成しています。そして、日々の業務を共通のフォーマットに記録し、それをもとに各CWの動きや地区の状況をミーティングで共有しています。

「地域福祉活動をすすめるには、まず地域に出かけて顔を覚えてもらい、信頼関係を築くことから始まります」と話すのは、CWのまとめ役でもある福祉のまちづくり推進課の森本一義課長です。「住民の方々と

※1「CW」は、地域住民が抱える課題について、住民と一緒に考え、その解決のために住民や団体が行う活動を支援し、地域づくりを進めていく専門職です。

# 社会福祉法人「米子市社会福祉協議会」

※取材は感染対策を徹底した上で、撮影時のみマスクを外しています。

話をする中で、地域の課題や〇〇が出来たら良いのにという話が出れば、お手伝いするのでやってみませんか？と声をかけます。地域づくりは住民が主体であり、私たちはあくまでもお手伝いですが、サポートがあることで活動を始めるきっかけになればと考えています」と話します。



福祉のまちづくり推進課の森本一義課長

また「活動者の皆さんに対して感謝やねぎらいの言葉掛けをする、活動に対する意味づけをする、地域の皆さんの反応をお返しするなど、気持ちよく積極的に活動してもらえようように心掛けています」と住民と一緒に活動を進める秘訣を教えてくださいました。

## 地域に根ざした独自の福祉のまちづくり事業

米子市社協では、「米子市社会福祉大会」や「米子市福祉のつどい」の開催、ボランティアセンター、ファミリーサポートセンターの運営、「暮ら



「本を贈ろうプロジェクト」の自動販売機は「災害バンダー」と共同しています

しの福祉の困りごと相談」、「福祉バスの」運行など、市民に密着した福祉事業を行っています。

その中で、社協からの寄付行為として全国的にも珍しいのが「本を贈ろうプロジェクト 福祉の地域(まち)づくり」事業です。米子市社協が市内に設置した20台の自動販売機の収益から、毎年小学校6校・中学校3校へ希望の図書を寄贈しており、現在4年目で各校から喜ばれています。

また、子どもの居場所づくり活動にも取り組んでおり、2021年の夏休みから「ぎほうこどもカレッジ」を義方(ぎほう)公民館や地域住民と協働で実施しています。夏休みな



「ぎほうこどもカレッジ」でボランティアとして楽器演奏などをする「国立音楽院南部校」(鳥取県西伯郡南部町)の学生たち

「ぎほうこどもカレッジ」に参加の子ども  
の母親でボランティアの寺坂美香さん



ど長期休業中の子どもたちが安心して過ごせる場として、公民館を中心に地域活動団体や企業、ボランティア、保護者などが協力し、創意工夫された多彩なプログラムの学びと交流の中で、地域の人々との顔の見える関係づくりを目指しています。

## 地域活動の種まきをする コミュニティワーカー

次世代を担う子どもたちへの福

取材に訪れた冬休みのカレッジでは、デコレーションカード作りや音楽学校の学生によるコンサートと絵本の読み聞かせが行われ、子どもたちは熱心に取り組んでいました。保護者として、またボランティアとして参加している寺坂美香さんは「冬休み中に友だちや遊び相手がいらないので、学年の違う人たちと知り合い、新しい体験や楽しい時間が過ごせる有意義な居場所になっています」と笑顔で話し、自身も楽しめているようです。

祉教育や子育てサークルの活動支援、子ども居場所づくり活動など、世代ごとのニーズへの取り組みは、子どもを通して親や学校との繋がりがつくりや人材の発掘だけでなく、間接的な「福祉教育」や「支え合いのまちづくり」にも結びつきます。

「米子市自治連合会が募集された（子どもたちから見た地域活動）の絵画には、住民が長年地道に続けてきた活動や、一緒に立ち上げた活動が多く描かれていました。みんなと一緒に悩み挑戦した活動、住民が想いを持って続けてきた活動など、小さなことでも確実に子どもたちの心の中に（地域活動）の一つとして浸透していると思えて、やり甲斐と喜びを感じました」と話すのはCWの生田汐さんです。

また「子どもの頃から地域の人たちと時間を共有することは、（地域）を身近に感じ、愛着形成に繋がります。それは、親世代そして子ども



CWの生田汐さん

ちがいずれ地域を担う人材となり、誰もが住みよいまちづくりのための確実な次世代の人材育成の種まきだと感じています」と話します。

CWの高砂裕子さんは「小学校で福祉教育授業をしています。子どもたちと道で会ったときに〇〇さんだあ〜と挨拶してくれたり、何してるの？と声をかけてもらえたりして、嬉しくてほっこりしています」と笑顔を見せます。



CWの高砂裕子さん

そして、政本事務局長は「社協は、企業でも行政でもない立場だからこそ、それぞれの関係性から構築してきた地域づくりのノウハウを生かして、新しい地域活動やまちづくりのサポートができることにやりがいを感じます。社協職員として、住民に一番身近な立場で、地域が作り上げられていく過程を共有することも大きな喜びとなっています」と話します。

### 【概要】

- 所在地 鳥取県米子市錦町1丁目139番地3
- 開設日 1964(昭和39)年6月23日
- 運営主体 社会福祉法人 米子市社会福祉協議会
- 職員数 50名
  - ・事務局長 1名
  - ・総務課 8名
  - ・福祉のまちづくり推進課 11名
  - ・暮らしサポートセンター 11名
  - ・米子市出向(市総合相談センター) 19名
- 活動内容 地域福祉事業、生活支援・総合相談事業、ボランティアセンター、ファミリーサポートセンター
- 相談窓口 当該法人



米子市社協は米子市福祉保健総合センター「ふれあいの里」の中にあります



# Challenge チャレンジ福祉の仕事

社会福祉法人 米子市社会福祉協議会

福祉分野の質的変化や制度改革などにより、福祉施設などではさまざまなキャリアや資格をもつ人材が求められ、それに応じて働きがいをもって福祉の仕事に新たにチャレンジしている人たちがいます。ここでは、福祉分野の仕事に就労し、情熱を燃やしている人たちを紹介します。

## 地域のためにという住民の思いに励まされ



小学校での福祉教育

「コミュニティワーカー  
(主事、社会福祉士) 磯岩 愛さん



亡くなった祖母に対して、何もできなかったことを悔やんでいたことが、福祉関係の仕事をめざすきっかけでもあったと話す磯岩愛さんは、米子市社会福祉協議会に入職した当時は「とにかく、自分のできることをやるだけでいい」と、仕事の複雑さや地域活動者との関係づくりの難しさを感じたようです。

現在は、「コミュニティワーカー(CW)として地域活動の支援をしており、地区版の「地域福祉活動計画」の作成支援を行うほか、地区で企画された事業を実施に移すためのサポートをしています。地域福祉活動は住民主体の活動であるためサポートに徹し、さらに「地域の皆さんが活

動にやりがいや楽しみ、達成感などを感じてもらえるように気をつけています」と磯岩さんは話します。

また、米子市社会福祉法人連絡会の事務局も担当しており、社会福祉法人による地域貢献について、法人関係者と協議しながら進めています。地域づくりは、地域の人たちをはじめ、法人、ボランティア、自治体、企業などが協力して、共に支え合い、助け合う仕組みづくりや、その理解を深めるものです。「地域のために自分たちが動かなければ」という住民の皆さんの熱い気持ちにいつも励まされています」と話します。

また、初めは地区の役目として参加した活動でも、活動を進めるうちに次第に積極的になっていく人たちがいます。「そんな状況を見ると、一緒に進めて良かったと思います」と磯岩さん。これからも、地域に関わる様々な人たち、子どもや若い世代、法人や企業も巻き込んだ地域づくりを理想に掲げ、前向きに取り組んでいく気持ちはあります。

## 地域の顔なじみになる喜び

「コミュニティワーカー  
(主事、社会福祉士・介護支援専門員) 生田 汐さん



中学校のクラブ活動でのボランティアをきっかけに、大学で福祉を学び、福祉の現場で働くようになったという生田汐さんは、「その人の主体性や持っている力を引き出すお手伝いをする、福祉の仕事のやりがいや面白さを改めて感じています」と話します。また、人と関わる仕事なので、個々の想いや反応も様々で難しい反面、本当に奥が深く面白く、やりがいと達成感のある仕事だと感じているようです。

CWとして住民が主体となった地域活動の支援を行っている中で、社協という強みを生かし、住民、地域活動団体、企業、学校、行政などのつながりとなり、垣根を超えた地域づくりのサポートができるよう努めています。

最近子ども居場所づくり活動の開催支援をはじめ、小学校の福祉に関する出前授業のサポート、また災害時に備えて支え合いの地域づくりを目指す「支え愛マップ」の作成支援も行っていきます。自治会長や防災役員等と連携し、住民の意欲的な活動を支援することで、前向きで意欲的な気持ちを分けてもらっていると感じています。

「一番大切にしてほしいことは、笑顔で前向きに取り組むことです」と話す生田さんは、笑顔で仕事に取り組むことは、職場や地域での雰囲気づくりにも繋がると感じており、自分自身もよりよい活動ができるように笑顔を大切にしています。

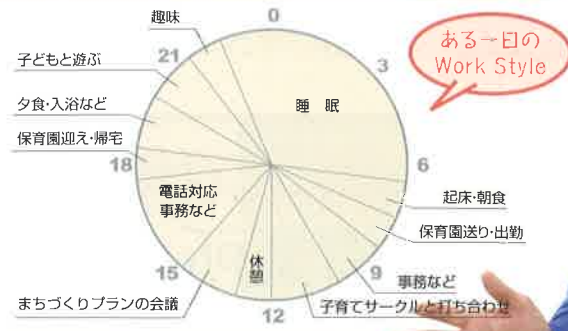
CWとして地区担当をするようになり、「地域住民の方々との関わりの中で、「顔なじみ」の一人としてまちの中で気軽に声をかけてもらえると、地域の方との関係性を積み重ねてこられたと感じられてうれしいです」と話す生田さんは、地域と一緒になって想いを共有し、地域がよりよくなるために立ち会えることのできるCWの仕事は本当に魅力ある仕事だと思っています。



# 福祉専門職の紹介 コミュニティワーカー

人との出会い、繋がりが自分の成長に

コミュニティワーカー（CW）は、地域で活動している各種団体や、地域のために何か活動したいと思っている住民などを支え、世代間交流や地域のネットワークに発展させることで、地域全体の福祉力を高める地域福祉活動のサポート役です。米子市社協では、その分野の専門職をCWとし、地域におけるサポートネットワークを形成



社会福祉法人 米子市社会福祉協議会

たにくち ゆうすけ  
コミュニティワーカー 谷口 佑介さん  
(主任・社会福祉士)



しながら、生活課題に対して地域で支え合う仕組みを作る活動に力を入れています。

現在の仕事の内容を具体的に教えてください

CWとして、地域活動のお手伝いをしています。具体的には、地域住民の活動やボランティア活動をしている方の相談を受けたり、よりよい地域づくりのために話し合いを行ったり、活動のサポートをしたりしています。また「支え愛マップ」作成の取り組みや、住民主体の地域活動を計画化する取り組み（福祉のまちづくりプラン）なども進めています。そして災害時に備え、災害ボランティアセンターが円滑に運営できるように、関係機関との協定の締結や運営マニュアルの整備なども担当しています。

仕事のやりがい、魅力などを教えてください

この仕事は、様々な福祉専門職、ボランティア活動者、地域活動者から、いろいろな職種の方など、多くの方々とお会いすることができる

ところが魅力です。またCWは、様々な立場の人や専門職、社会資源を繋ぐことも多いため、人との関係性が広がります。それが自分の成長にも結びつくうえ、自分のネットワークが広がり、引き出しが増えることが地域課題の解決にも繋がっていく、そういうところも大きなやりがいです。

「この仕事に就いて良かった」と思うのはどんな時ですか？

地域活動をしている方や、ボランティア活動をしている方との信頼関係ができたとき、とてもうれしく思います。そうした方々と一緒に地域課題の解決、福祉のまちづくりプランの完成やイベントの実現など、何かを成し遂げたときの皆さんの笑顔を見るとやりがいを感じます。



仕事をするうえで大切にしていることは、どのようなことですか？

「今ある制度では解決しづらい困りごと」や「どこに相談したらいいのか分からない困りごと」なども相談を受けることが多く、相手に誠実に対応することや地域住民の「やりたい」という気持ちに応えることを大切にしています。



休日は何をして過ごしていますか？

妻と子ども2人の4人家族で、子育ての合間の自分の時間には、好きな音楽を聴いています。また昨年には家を新築しました。休日には家族と買い物や公園に出かけて子どもたちと遊んでいます。

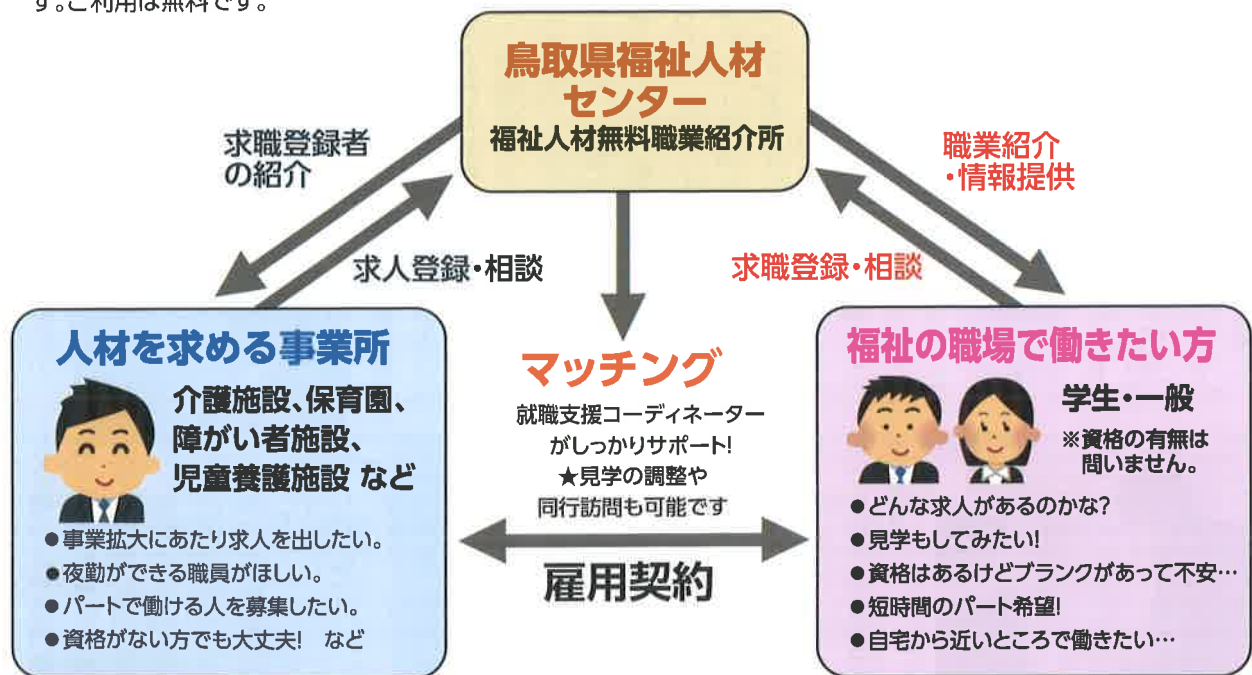
## 鳥取県福祉人材センターのご案内

# 福祉の職場で働きたい方と 人材を求める事業所との橋渡しをしています

鳥取県福祉人材センターは、職業安定法に基づく無料職業紹介事業(厚生労働大臣許可)をはじめ、福祉人材の確保・育成・定着に関わる総合的な取組を行っています。【無料職業紹介事業許可番号13-ム-010001】

### ■無料職業紹介事業

福祉の職場で働きたい方、求人情報を知りたい方には、求職登録や職業紹介、求人情報の提供を行ないます。また、人材を求める事業所には、求人条件に該当する求職登録者の紹介など、求人者と求職者双方のニーズに応えます。ご利用は無料です。



### 福祉の職場で働きたい方への職業紹介の流れ



### 人材を求める事業所への就業あっせんの流れ



まずはご相談ください！

鳥取県福祉人材センター

〒689-0201 鳥取市伏野1729-5 TEL (0857) 59-6336 FAX (0857) 59-6341

【開設日】月～金 8:30～17:00(祝日、年末年始は除く)

専用サイトで求職・求人の登録・求人票の閲覧ができます。

福祉のお仕事

福祉のお仕事

検索





## とっとりボランティアバンク 登録団体紹介

### ハッピーリージョンプロジェクト

「とっとりボランティアバンク」はボランティア活動に関心を持っている方が活動に参加する「きっかけ」を提供するため、県内の生活支援を中心としたボランティア活動や災害ボランティア活動情報を速やかに入手し、発信しています。

その中でも、このコーナーはボランティアとともに活動したいという登録団体の活動を紹介しています。

【ホームページ】<https://www.torivc.jp>



メンバーの皆さん

「とっとりボランティアバンク」はボランティア活動に関心を持っている方が活動に参加する「きっかけ」を提供するため、県内の生活支援を中心としたボランティア活動や災害ボランティア活動情報を速やかに入手し、発信しています。その中でも、このコーナーはボランティアとともに活動したいという登録団体の活動を紹介しています。

「ハッピーリージョンプロジェクト」は、よつば薬局（鳥取市里仁）を主体に近隣企業と協賛し2022年4月に設立された任意団体です。地域住民や地域で従事する方々が、住みやすい町づくりに繋げることを目的とし交流事業やイベントなどを実施しています。



山下聖児代表

### 「ひとひぼひち」にさせない幸せな地域へ

「地域住民みんなで楽しみ、繋がる機会を持つことで健康と地域活性化への一助になりたい」と活動しています。

#### 住民主体の地域交流で繋がり強化

今回、企画したのは「寄せ植え教室」。講師の山陰園芸センターピアンタピアットの平明子さんは「コロナ禍でお家に居る時間がメインとなり、前向きな気力が湧き辛い。植物は多くの関わりを持って成長する。花の色や香りを楽しむだけではなく、人は植物に活かされているように思う。だからこそ植物を大事に思い、支えられていることに感謝しながら自分と向き合うことで元気になって欲しい」と開催できた喜びを皆さんへ伝え、参加者全員の実顔がほころびました。

企画担当の坂本 一郎さんは共通の趣味を通じて楽しんでいる参加者の姿に「予想以上に地域の方々が人との交流を望んでいる」と実感したと言います。今後地域との繋がりを強化のきっかけになるよう地域の方の趣味（ペーパークラフト、お家キャンプ等）を活かした交流会を企画していきたいと言います。そのためにも新型コロナウイルス感染症のために



企画担当の坂本 一郎さん

早期収束を心より願ってやみません。  
繋がる循環型  
世代間交流を目指して

山下代表は将来、昼間に高齢者や認知症の方が交流しながら子ども達の夕食を準備し、夕方になれば気軽に立ち寄り食事するような地域食堂（地域カフェ等）ができればとイメージを描きます。このプロジェクトをきっかけに、みんなで幸せを分け合える居場所として循環していく世代間交流が生まれるよう期待を膨らませています。さらにSDGsの理念のもと、この地域で暮らす子どもも高齢者も「ひとひぼひち」にならないよう安心して暮らせる環境づくりの実現と、「この地域に住み続けたい」と思える地域づくりを目指し、応援してくれる人々と繋がり、活動が広がることを願っています。

- (1) ハッピーリージョンプロジェクトはSDGsの17の目標の内、③すべての人に健康と福祉を、⑩住み続けられるまちづくりの実現を目標としている。
- ※ハッピーリージョンプロジェクトはとっとり研志塾フォーラムにて奨励賞を受賞（2023年1月）
- (2) とっとり研志塾フォーラム：県内の地域づくり活動者や高校生・大学生等と県内外で地域をテーマに、鳥取の未来について話し合う参加型フォーラム

ハッピーリージョンプロジェクト  
担当／坂本 一郎  
問合せ先  
鳥取市里仁54-2-26 田園クリニック  
TEL (0874) 500-0003

\*取材は感染対策を徹底した上で、撮影時のみマスクを外しています。

# 多世代交流拠点「COCON」

誰でも気軽に立ち寄れる、ほっとできる空間を。

鳥取大学地域学部の学生団体「COCON」と、児童クラブなどを運営する「NPO法人ふふや」が連携した「COCON×ふふや」が昨年7月に設立され、その拠点が9月にプレオープン。2か月にわたる試行錯誤と準備を重ね、12月11日に本格オープンしました。カフェ風をコンセプトとしたことも食堂では、大学生が考案した「映えメニュー」を販売するほか、懐かしい駄菓子なども並び、幅広い年代層をターゲットとした仕掛けづくりがなされ、「誰もが気軽に立ち寄れる、ほっとできる空間、多世代がつながれる『第三の居場所づくり』を目指しています。」



COCON入口

誰もがふらっと利用できる居場所を

鳥取市中心街の若校街道商店街にあるビルの1階にオープンしたCOCONは、子どもたちが大学生と遊んだり、宿題をしたり、子ども連れの親子や近所の高齢者、学校帰りの中高生が立ち寄るなど、誰もがふらっと立ち寄ってひとときを過ごせる空間です。

「児童クラブのほかに子どもたちの居場所があれば、子どもも保護者の



ふふや副理事の岩淵壮一郎さん

も安心できるのでは」と考えていた、ふふや副理事の岩淵壮一郎さんと、「居場所づくりがしたい、何か新しいことに挑戦したい」と考えていたCOCON代表の清水愛結さんがまちづくりイベントで知り合い、互いの思いが合致し意気投合したことをきっかけにこの事業が立ち上りました。

「私たちは、こども食堂といっても、あくまで『カフェ風』であることにごこだわっています。そしていかに地域の幅広い年代層を巻き込めるかとい



う点に力を入れています」と清水さんは話します。それは、誰もが訪れやすい場所をつくり、安心安全な居場所を創出したいとの思いからです。

プレオープンから繋がるよろこびと想い

学生たちとのプレオープンまで1カ月の準備期間を終えて、「学生たちが一生懸命頑張る姿を見てうれしく思いました」と岩淵さんは笑顔をみせます。また清水さんは「たくさんの人に来ていただけたことが一番の喜びでした。また、多くの人たちの笑顔が見られたことや、世代を超えて話ができる空間が広がったよううれしかったです」と話します。

学生たちのプレオープンでの気づきとして、小学生が安心して遊べる場所が少なく、小中高生が学校以外



駄菓子販売コーナーで選ぶ親子

で友達と一緒に勉強をする場がないこと、世代を超えて交流をする空間がほとんどないほか、通勤通学以外で商店街を通行する人が少ないことが挙げられ、学生たちは地域と商店街を客観視するきっかけを得られたと感じています。

そんな中で、地域の人たちから「元気〜!？」と声を掛けてもらったり、商店街を歩いているときに手を振り合えたりと、「COCONを始めて良

鳥取県ボラセン  
キャラクター  
「はーちゃん」



子どもたちが思い思いに書き込めるアート黑板



カフェー押しの「パンシチュー」とわらび餅

の事業を継続させることです。事業は持続させてこそ意味を持ちます。そのためには、代替わりしても学生自身が主体となって事業を行えるよう、役割分担を徹底したり繋がり構築させていきたいと思っています」と、自身は卒業しても相談役という立場で支えたいと考えています。

COCONの営業日は、金土日の3日間、11時30分〜19時までです。8名のスタッフはボランティアの大学生ですが、ゆくゆくは高校生や地域の方を巻きこんで運営をしていきたいと考えています。

また、カフェー押しメニューの「パンシチュー」やプルンプルンと評判の良い「手作りわらび餅」など販売するメニューは全て学生が考案し、手作り、見映え、そして特別感を出すことを心掛けています。そして、18歳以下の子どもには、無料で「おにぎりセット」などの提供をしています。



COCON代表の清水愛結さん

かった。少しずつだけれど受け入れてもらえている」と思える、うれしい光景が少しずつ広がっています。

### 学生主体の発想と 仕組みの構築で継続化を

学生は一時的に地域やまちづくりなどにアプローチはしても、いずれ去っていくものだと思うれているのが現状です。それについて清水さんは、「私たちの目標はこ

### 将来に夢をはせる 学生の体験と成長の場

「私たちは、この輪を広げていくためにインスタグラムを中心に発信しています。大学生が運営していることに興味を持ってもらえ、学生とかかわりたいと思う人たちにも来ていただいています。その意味では、地域内外の人たちと交流をすることができるところでもあります」と清水さんは話します。



ボランティアの鳥大生たち、一番左が副代表の塚本莉奈さん

「周囲をよく見ている」と、清水さんが副代表に抜擢した1年生の塚本莉奈さんは「私は人前に立ったり、話をしたりすることが苦手ですが、自身の成長のためにも挑戦してみようという思いです」と、学生自身にとっても社会経験を積む場所であり、多世代間の交流を通して様々な

学びを得ることができるよう、自己の成長に繋ぐ場にもなるようです。「私たちが目指すのは、誰もが気軽に立ち寄れる空間の構築です。そして、笑い声が聞こえる地域にしていきたいと思います。COCONが訪れる皆さんの出会いの場であり、特別な場所になれたらいいなと思っています」と、清水さんたちは、これからの発展へ思いをめぐらせています。

「古今東西、人と人を繋ぐ交流の架け橋になりますように……COCON。」

多世代交流拠点「COCON」  
代表 清水 愛結  
【問合せ先】  
鳥取県鳥取市職人町26(田村ビルF)  
携帯 090-6756-4688  
E-mail: TORI1801017@gmail.com  
Instagram:  
@cocon\_jbashi.huhya.9

盲導犬と一緒に来られる方も



# ねんりんピックかながわ2022

第34回全国健康福祉祭神奈川・横浜・川崎・相模原大会(ねんりんピックかながわ2022)が、11月12日(土)から15日(火)の4日間にわたり神奈川県で開催されました。新型コロナウイルス感染症のため令和元年和歌山大会以来3年ぶりの開催となりました。

大会には47都道府県と20政令指定都市から約1万人が参加され、鳥取県からも20種目125名の選手監督が参加してスポーツ・文化の交流大会で競技や交流を楽しみました。



開会式

12日(土)に横浜アリーナで開催された総合開会式は、各選手団とも旗手など5人で入場行進を行い、スタンドから選手団の皆さんが声援を送るという新しいスタイルで行われました。鳥取県選手団の皆さんは、入場行進に合わせて「コナン」と「鬼太郎」のタオルを振って鳥取県をアピールしながらカー杯声援を送りました。

13日(日)からは神奈川県内26市町村で32種目のスポーツと文化の交流大会が行われ、鳥取県の選手の皆さんも日頃の練習の成果を存分に発揮され多くの優秀な成績を残されました。

また、大会終了後には、上位成績を収められた選手の皆さんを中心に鳥取県知事に大会結果等の報告を行いました。



大会結果報告

全国健康福祉祭(愛称…ねんりんピック)は、60歳以上の方々を中心としてあらゆる世代の人たちが楽しみ、交流を深めることができる健康と福祉の総合的な祭典です。昭和63年の第1回兵庫大会以来毎年開催されており、スポーツや文化など多彩なイベントを通じて、地域や世代を超えた交流の輪が広がっています。

また、令和6年度には鳥取県でねんりんピックが開催されることとなっており、現在、県市町村・競技団体が連携して開催準備を進めています。



水泳



ゲートボール



ソフトバレーボール

## 人の役に立ちたい気持ちの大切さ



ことぶきレポーターの取材より

県内の素敵な高齢者を同世代のことぶきレポーターが取材をします。「シニア」の「シニア」によるシリーズ。地域で頑張っている人、生きがいをもって暮らしている人など高齢者の魅力を余すことなく紹介します。



前岡鈴子さん

鳥取市湖山町にお住まいの、前岡鈴子さん(80歳)は、60代中頃に住み慣れた高知県から鳥取県へ来られたそうです。なぜ鳥取の地で生活をされているのか伺うと、この鳥取で結婚生活を送っている一人娘さんの所に来られたとおっしゃっていました。娘さんが幼い時にご主人を亡くされ、娘さんを必死で育て上げ、老後はこの鳥取で一緒に生活することを夢見ていたと思います。

そんな激動の人生を歩んできた方とは思えないほど、前岡さんはおからかまで明るく親しみやすい方です。さすが高知の荒波の地で育った方だという印象を受け、私自身も海辺で育ったので親近感を覚えました。気持的には元氣な前岡さんですが、年々体力も落ちていく中、転んで大手術をするほどのケガをし、9ヶ月もの入院生活を送られました。その後リハビリ設備の整った、にしまち幸福苑で3ヶ月間リハビリをされたそうです。本人の努力はもちろんですが、スタッフの指導の効果もあり歩けるようにまで回復しました。施設のあたたかい雰囲気も心地よく、その時のスタッフの献身的な対応にとても



利用者さんと楽しくお話

しかし、思ってもみなかった病魔が娘さんを襲い、帰らぬ人となってしまわれたそうです。悲しみのどん底に突き落とされた気持ちだったのではないのでしょうか。そして、お孫さんを娘さんの代わりに育てることとなり、悲しんではいられない境遇に置かれました。



スタッフのみなさんと

感謝しているとおっしゃっていました。お世話になったこの施設と離れがたく、自分自身のリハビリの経験が役に立てないかと考え、退所後週3回ボランティアをされています。違和感がないほどスタッフに溶け込み、リハビリのアドバイスをしたり利用者話し相手になったり、楽しく親しみをもつて通って来られる方達と会話を交わされていました。利用者の方に前岡さんの印象を伺うと、「よく気が付き明るく庶民的で、元氣をもらいリハビリを頑張っています」という声が聞かれました。



取材を終えて一言  
清水 はるみさん(鳥取市)  
高齢になっても誰かの役に立ちたいという気持ちがあれば、無理のない範囲でボランティアをすることが出来ると感じました。また、施設での取材を通しリハビリの様子を見ることで、いい経験になりました。

取材を終えて一言  
清水 はるみさん(鳥取市)  
高齢になっても誰かの役に立ちたいという気持ちがあれば、無理のない範囲でボランティアをすることが出来ると感じました。また、施設での取材を通しリハビリの様子を見ることで、いい経験になりました。

これからも、回復に向かって頑張っている方達が希望を持てるように、無理なく続けられる限り施設でのボランティア活動を頑張ってください。年を忘れるぐらい気持ちは若々しいので娯楽もエンジョイし、毎日を明るく楽しい日々にしてください。

にしまち幸福苑との出会いで生きがいを感じ、少しでも役に立ちたいという気持ちを持って楽しくボランティアをしている前岡さんを見て、施設の利用者にとっても前岡さんにとっても元氣の源になっているように感じました。



料理教室に参加

令和5年度

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

# ボランティア活動保険

商品パンフレットは  
こちらから  
(ぶくしの保険ホームページ)



## 保険金額・年間保険料 (1名あたり)

団体割引20%適用済 / 過去の損害率による割増適用

保険金の種類		プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン	特定感染症重点プラン	
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円			
	後遺障害保険金		1,040万円(限度額)			
	入院保険金日額		6,500円			
	手術 保険金	入院中の手術		65,000円		
		外来の手術		32,500円		
	通院保険金日額		4,000円			
	特定感染症	補償開始日から10日以内は補償対象外(*)			初日から補償	
賠償責任の補償	地震・噴火・津波による死傷		×	○	○	
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)			
年間保険料			350円	500円	550円	

\*3月末までに契約手続きが完了し、前年度から継続して契約される場合は初日から補償します。

## <重要>

- ◆基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆特定感染症重点プランでは中途加入の場合でも補償開始日より特定感染症が補償対象となります。
- ◆年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。



## ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

## 送迎サービス補償

(傷害保険)

## 福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

●このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者

### 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受兼  
保険会社〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課  
TEL:03(3349)5137  
受付時間:平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)  
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店

### 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
TEL:03(3581)4667  
受付時間:平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

(SJ22-12223より抜粋して作成)

## とっとりボランティアバンクにご登録ください

ボランティアの力を借りたい

ボランティアをしてみたい

そんなときは…  
とっとり  
ボランティア  
バンクに

ご登録  
ください!



誰かのために  
かになりたい!

ボランティア  
したいけどどこで  
募集してるの?

ボランティアと  
一緒に地域を  
元気にしたい!

ボランティアの  
力を借りたい!

ボランティアバンクでは  
こんなお手伝いをします

### ボランティアの 活動調整

ボランティアを募集する  
方と、活動する方との調  
整を行います。

ボランティア活動  
に関する相談受付  
ボランティア活動に関  
する困りごと、お悩み、助成  
金の申請方法など、何で  
もご相談ください。

### ボランティア活動 に関する情報提供 (メルマガ)

登録された方に、ボラン  
ティア募集やボランティ  
アに関する講座・研修な  
どの情報をメールなど  
で提供します。

ボランティアバンクに  
登録いただくと…



ボランティア  
したい人  
(団体)

県内外のボランティ  
ア募集やボランティ  
ア関連講座・研修な  
どの情報を受け取る  
ことができます。



ボランティアの  
力を借りたい  
団体

とっとりボランティア  
バンクのHPやメル  
マガを通じてボラン  
ティア募集やボラン  
ティア関連講座・研修  
などの情報を発信で  
きます。

登録したいと思ったら…

下記ホームページから登録いただくか、登録票に必要事項を記入のうえ、ファクシミリもしくはEメール、郵送にて送付してください。登録票は下記ホームページからダウンロードいただくか、お問い合わせ先にご連絡ください。

ホームページアドレス <https://www.torivc.jp/>



●お問い合わせ・ご相談 福祉振興部(鳥取県ボランティア・市民活動センター)まで TEL:0857-59-6344 FAX:0857-59-6340

## 令和5年度 第31回因伯シルバー大会 出場者募集

スポーツや文化活動を通して、鳥取県内の高齢者同士の交流の輪を広め、健康と仲間づくり、生きがいづくりを促進するために、因伯シルバー大会を開催します。なお、本大会は令和5年10月に愛媛県で開催される「ねんりんピック愛媛のえひめ2023」の鳥取県派遣選手の選考会を兼ねています。

### ■応募資格

鳥取県在住の60歳以上の方  
(昭和39年4月1日以前に生まれた人)

### ■参加料

無料(ただし、ゴルフは参加料2,000円  
及びプレー代が必要)

### ■応募方法

所定の参加申込用紙に必要事項を記入し、FAX又は郵便で申してください。  
実施要項及び申込用紙は、県社会福祉協議会、市町村社会福祉協議会、公民館等に設置しています。

### ■募集締切

令和5年4月14日(金)

### 【お問合せ】

地域福祉部 因伯シルバー大会申込係 TEL(0857)59-6332

日 程	種 目	会 場
5月6日(土)	卓球	あやめ池スポーツセンター 体育館
	テニス	東郷湖羽合臨海公園 南谷テニスコート
	ソフトテニス	倉吉市宮庭球場
	ペタンク	北条運動場
	弓道	鳥取市弓道場
	健康マージャン	米子市大和公民館
5月7日(日)	ゲートボール	ハワイオレンジ球場
5月8日(月)	グラウンド・ゴルフ	レークサイド大栄
5月10日(水)	ゴルフ	旭国際浜村温泉ゴルフ倶楽部 湖山コース
5月14日(日)	囲碁	倉吉未来中心
	将棋	倉吉未来中心
	ソフトボール	北条運動場

※日程、会場は1月下旬時点のものであり、今後変更になる場合があります。  
最新情報は上記問合せ先に照会するか、競技団体に確認してください。

## 介護助手募集!! 60歳～75歳くらいの方、未経験者大歓迎!! 住み慣れた地域で『介護助手』として働いてみませんか

### ●短時間勤務 ●週2日からでもOK! ※就労条件は、各施設で異なります。

今後、少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少により、高齢者施設等で介護を担う人材が不足していくことから、介護人材の確保は、団塊の世代が後期高齢者になる2025年に向け、喫緊かつ社会的要請の強い課題です。介護・生活支援に携わる人材を社会全体として確保する取組を進めていかなければいけません。介護助手の取組は、こうした社会的要請にこたえる取組の一つとして全国的に広がりを見せ、元気な高齢者の方々の活躍が期待されています。

### ★介護助手の仕事の内容

介護助手とは、シニア世代の新しい働き方です。高齢者施設で、部屋の掃除や食事の配膳・片付け、ベッドメイク、趣味活動の手伝い、話し相手など、介護の補助的な仕事を担っていただくものです。

介護の仕事や医療福祉分野の仕事に従事されたことのない方でも可能です。

地域社会への貢献になり、また、働きながら介護を学び、ご自身の健康維持、介護予防にもつながります。

### 【介護助手として働く方々の声】



#### 68歳男性

福祉職場での経験はありませんが、自分にもできることがあるのではと思い応募しました。午前中のみ勤務で、朝食の配膳や下膳、居室整理、ベッドメイキング、洗い物などを行っています。はじめは戸惑うことも多かったのですが、職員の方が丁寧に教えてくださり、今ではすっかりベテランスタッフです。



#### 64歳女性

定年前は、葬儀社に勤めていました。経験は無いですが、人の役に立てたらと思い働くこととしました。最初は戸惑うこともありましたが、利用者さんとの交流を通じて学ばせていただくことも多いなと感じています。食事の準備などの仕事もありますが、培ってきた家事が役に立つことがとても嬉しいし、楽しいです。

●お問い合わせ 福祉人材部 TEL(0857)59-6336 FAX(0857)59-6341

# HOTeyeギャラリー

## 鳥取県医療的ケア児等家族会 エミリーさん作品紹介



### 【自己紹介】

エミリーさんは、リー脳症(国指定難病で患者は日本で約100人ほど)とてんかんと診断された医療的ケア児。

寝たきりで人工呼吸器などを必要としているが楽しく元気をモットーに自宅暮らし、湯梨浜町立羽合小学校に通いながら充実した毎日を過ごし、この春から2年生になる。

リハビリ目的で始めた手形足形アートで「エミリー画伯」として個展を開いたり、たくさんの方とのふれあいから、いろんな学びをして欲しいと思っています。(母:晶子)



作品名:ハロウィン 2017年10月17日製作

足を4つつなげたおばけかぼちゃと、絵の具と溶かした水のバランスが良い味を出すアシンウラオバケ。カボチャの茎やTrick or Treatも背景の黒に映える金色を使い人差し指で描いています。

※Trick or Treatとはハロウィンのイベントで子どもたちがお菓子をもらうために使っている言葉です。子どもたちはもらったお菓子を持ち寄り、ハロウィンパーティを楽しみます。



作品名:七夕  
2019年7月19日製作  
笹は人差し指で、茎は指先で、枝は小筆で。差別や偏見、争いのない世の中になるようにと願いを込めてつくった作品の1つ。

## 社会福祉法人 鳥取県社会福祉協議会

〒689-0201 鳥取市伏野1729-5(県立福祉人材研修センター内)  
URL <https://www.tottori-wel.or.jp> e-mail [soumu@tottori-wel.or.jp](mailto:soumu@tottori-wel.or.jp)

福祉人材の  
求人・求職  
の窓口です

### 鳥取県福祉人材センター

TEL.0857-59-6336 FAX.0857-59-6341  
URL [https://www.tottori-wel.or.jp/jinzai/shigoto\\_top/](https://www.tottori-wel.or.jp/jinzai/shigoto_top/)  
e-mail [jinzai@tottori-wel.or.jp](mailto:jinzai@tottori-wel.or.jp)

ボランティア活動の  
幅を広げる  
活動を応援します

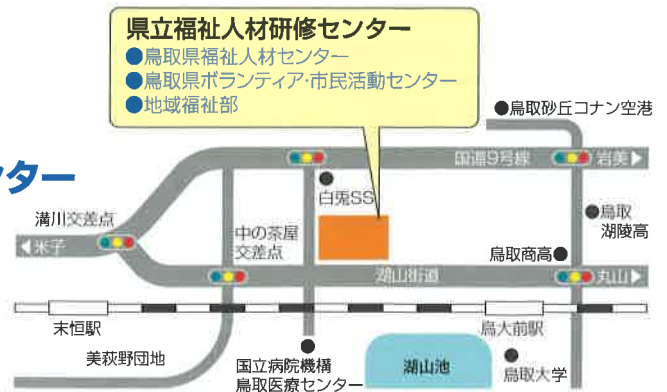
### 鳥取県ボランティア・市民活動センター

TEL.0857-59-6344 FAX.0857-59-6340  
URL [https://www.tottori-wel.or.jp/hukushi/vol\\_top/](https://www.tottori-wel.or.jp/hukushi/vol_top/)  
e-mail [vc@tottori-wel.or.jp](mailto:vc@tottori-wel.or.jp)

元気な高齢者の  
生きがい・社会貢献  
を支援します

### 明るい長寿社会づくり推進事業担当

TEL.0857-59-6332 FAX.0857-59-6340  
URL <https://www.tottori-wel.or.jp/chiki/kotobuki/>  
e-mail [kototori@tottori-wel.or.jp](mailto:kototori@tottori-wel.or.jp)



本誌について、また、福祉に関することについて  
県民のみなさまからの御意見をお寄せください。

